



2019～2022 年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー

大島 浩輔

2019～2020 年度
国際ロータリー会長

2019～2020 年度
第 2670 地区ガバナー

小松島ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日[12:30～13:30]

例会場 菊寿殿 おがわ 小松島市小松島町字外開 7-1

TEL:0885-32-0205

事務局 小松島市金磯町 10-19 TEL:0885-33-1211

2020 年 2 月 28 日 第 3342 回 例会記録

会員総数	25 名
出席会員	20 名
本日出席率	80.0 %
前回出席率	68.0 %

会長報告 (木村 幹男) ・コロナウィルスが世界的に蔓延してきたようです。松西校の卒業式に招待されていたのですが、来賓等の招待が取りやめになりました。
・株価もリーマンショック 7 千\$余りを超え、1 万\$超の値下がりとなったとのこと
・地区研修会は今のところ連絡がないので予定通りかと・・・。

幹事報告 (芝 敏廣) ・加藤エレクトが PETS(会長エレクト研修セミナー)、DTTS(地区研修セミナー)に出席しました。当クラブは次年度のIM当番とのこと。実行委員長を榎原会員にお願いしたいと思います。(拍手で承認)
・来年の世界大会は台北でおこなわれるとのこと。

委員会報告 ・榎原会員：小松島市民に帰り咲きました。
・東條会員：退会届けを提出。
・笹尾会員に、入会記念品“RC バッジ・四つのテスト・ロータリーの目的”を手渡しました。

卓 話 安平会員の紹介に寄り、西照保彦
小松島市総務部長の“令和 2 年度当
初予算の概算等について”です。



◎予算は議会に諮って決まるものです。予算案の概要について紹介します。水曜日の徳島新聞で紹介されるとのことです。



□ 予算編成方針について：継続事案を中心に緊縮財政です。重点項目は、 予算要求限度額(シーリング)設定の試行実施、 物件費の削減、 新規事業への取組(対応)、 公共施設等の新設及び大規模改修への対応。

◎歳出需要は多いが、歳入は少子高齢化等で厳しくなる。(人口:37 千人)

◎地方自治は 3 割自治と言われています。

□ 令和 2 年度当初一般会計予算について： 予算規模 160 億 3 百万円(前年度比 5.4%減)、 歳入では 0.8%程度の増収、地方交付税全体(総額)は微増(1%程度)の見込み。 歳出では義務的経費全体で約 4.6%増、物件費は約 25.4%

減。投資的経費(普通建設事業)は約19.6%減。財政調整基金、公債費には減債基金から取り崩し対応。→ 厳しい状況ですが持続可能な行政運営を推進し、「選択と集中」を徹底することで社会経済状況の変化や市民ニーズに柔軟に対応した予算編成。

◎目玉は、学校教育の充実 → 米飯給食、大型電子黒板(65型)

□特別会計:特定事業を行う場合の会計。

◎今年度は六つの事業(競輪事業ほか)と、一つの企業会計(水道・下水道)があります。歳入歳出ともに約38億円です。

◎令和2年度予算は、トータルで過去最高の391億円。不足分は積立金・基金から。

🙏西照部長さま、ご多忙中のところ卓話をありがとうございました。
今後のロータリー活動に際して参考とさせていただきます。

ニコニコ箱 檜原、笹尾 会員